

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	日中の火災や地震を想定した訓練は年3回実施できているが、夜間災害時を想定した避難訓練を実施し、課題や対策を練る必要がある。	夜間災害時を想定した避難訓練を実施し、課題をみつけ、対策を練る。	夜間を想定した訓練を、右記の期間内に実施する。運営推進会議で、区長にも報告し、地元の消防団の協力を頂きながら、実施する。	12ヶ月
2	33	終末期の基本方針は、重要事項説明書に明記があり、職員の知識習得にも努めてはいるが、具体的な受け入れ態勢の整備、マニュアルの作成の必要がある。	終末期ケアの受け入れ態勢の整備、マニュアルの作成を行い、御家族の意向に沿えるようなケアの提供を行っていく。	法人内看護師による、終末期ケアの研修を実施すると共に、マニュアルを整備し、いざという時にも落ち着いて対応できるようにする。	12ヶ月
3	2	市主催の祭りや地域の祭りに神輿の担ぎ手として参加したり、地域の馴染みの店や理髪店を利用したり、また、近隣中学や高校の実習生を受け入れたりと交流が盛んであるが、現状に満足する事なく、関わりあいの拡張を目指す必要がある。	地域との関わりあいの拡張実施	近隣幼稚園や保育園または、地区の子供会に声をかけ交流が図れるようにし、出来る事から少しずつ実施していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所